

令和2年度 事業実績報告書

令和3年5月

社会福祉法人

早島町社会福祉協議会

目 次

◆早島町社会福祉協議会 令和2年度事業総括 (P.1~7)

- ▶基本理念 (P.1)
- ▶経営理念 (P.1)
- ▶基本姿勢 (P.1)
- ▶社協・事務局重点項目 (重点目標) 及び達成度 (P.2)
- ▶介護事業部 セクション別重点項目 (重点目標) 及び達成度 (P.3~7)

◆令和2年度事業実績 (P.6~42)

▶活動内容 (P.6~)

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営 (P.6~)

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| (1) 理事会の開催 | (5) 役員の先進地視察研修の実施 |
| (2) 評議員会の開催 | (6) 人事管理制度の推進 |
| (3) 評議員選任・解任委員会の開催 | (7) 早島町内社会福祉法人
連絡協議会の連携支援 |
| (4) 内部監査の実施 | |

II. 地域福祉事業

1. 広報事業活動の推進 (P.11~)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| (1) 社協だよりの発行 | (4) 早島の匠ミニギャラリーの開催 |
| (2) ホームページによる福祉情報の発信 | |
| (3) 地域福祉活動計画の策定(新) | |

2. 会費・寄付・募金の収受 (P.14~)

- (1) 住民会員・会費の募集
- (2) 一般寄付等の受納
- (3) 共同募金運動 (赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金) の推進

3. 住民参画型生活支援活動の支援 (P.16~)

- (1) 外出支援活動の支援
- (2) 暮らしの応援団活動の支援
- (3) 暮らしの応援カフェの運営支援

4. 福祉活動員活動の支援（P.18～）

- （1）福祉活動員協議会活動の支援

5. 地区福祉活動の推進（P.20～）

- （1）高齢者給食サービス活動の推進
- （2）ふれあい・いきいきサロン活動の推進
- （3）夏季一斉友愛訪問活動の実施
- （4）年末大掃除おたすけサービスの実施
- （5）地区福祉活動の支援

6. 福祉啓発（教育）の推進（P.23～）

- （1）夏のボランティア体験の実施
- （2）福祉教育への協力支援
- （3）コミュニケーション麻雀の普及推進
- （4）障がい者作品展の開催
- （5）福祉映画会の開催

7. ボランティア活動の推進（P.25～）

- （1）ボランティア保険の加入支援
- （2）福祉ボランティアグループ活動の支援
- （3）ボランティア活動に関する相談・調整
- （4）ボランティア活動の人材発掘

8. 福祉団体活動の支援（P.27～）

- （1）福祉当事者団体活動の支援
- （2）福祉団体活動の支援

9. 在宅福祉サービス事業の実施（P.28～）

- （1）福祉有償運送事業の実施
- （2）福祉用具貸出サービスの実施

10. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助（P.29～）

- （1）生活福祉資金貸付事業の実施
- （2）日常生活自立支援事業の実施

11. 地域福祉センターの管理運営（P.30～）

- （1）施設利用の促進
- （2）備品・用具の貸出
- （3）施設改修の実施

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業（P.31～）

- （1）介護保険-居宅介護支援事業の実施
- （2）介護保険-介護予防居宅介護支援事業の実施【早島町受託事業】

2. 通所介護事業 (P.33~)

- (1) 介護保険-通所介護事業の実施
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- (3) 介護保険外サービス事業の実施
- (4) ボランティア協力(受入)の実施

3. 訪問介護事業 (P.35~)

- (1) 介護保険-訪問介護事業の実施
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業-生活支援事業の実施
- (4) 介護保険外サービス事業の実施
- (5) 障がい者総合支援-居宅介護事業の実施
- (6) 障がい者総合支援-重度訪問介護事業の実施
- (7) 障がい者総合支援-移動支援事業(外出支援)の実施

▶補足／各種地域福祉事業の財源

1. 共同募金

◇一般配分金

- ❖社協だより発行 (P.11)
- ❖福祉活動員協議会活動の支援 (P.18)
- ❖夏のボランティア体験事業 (P.23)
- ❖福祉ボランティアグループ活動の支援 (P.25)

◇特別配分金

- ❖暮らしの応援団活動の支援 (P.16)
- ❖地区福祉活動の支援 (P.23)

◇歳末たすけあい配分金

- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.21)
- ❖夏季一斉友愛訪問活動 (P.22)
- ❖年末大掃除おたすけサービス (P.22)
- ❖福祉映画会の開催 (P.25)
- ❖障がい者作品展の開催 (P.24)
- ❖福祉当事者団体活動の支援 (P.27)

2. ほほえみ基金

- ❖社協だより発行 (P.11)
- ❖早島の匠・ミニギャラリー (P.14)
- ❖福祉活動員協議会活動の支援 (P.18)
- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.21)

3. 地域福祉活動基金

- ❖ 地域福祉活動計画の策定^⑧ (P.12)
- ❖ 暮らしの応援カフェの運営支援 (P.18)

早島町社会福祉協議会 令和2年度事業総括

▶本会の基本理念

お互いが支えあい 安心して 幸せに暮らせる 住みよい地域をつくります

▶本会の経営理念

本会役職員は、基本理念に則り地域福祉事業の推進と介護保険事業の充実・発展を図るとともに、安定した法人運営に心がけてまいります。

▶本会の基本姿勢

高齢化の進展と制度の複雑化は本会の経営に大きな影響がありますが、課題整理の契機として捉え、柔軟な組織運営により、地域福祉事業と介護保険事業などそれぞれの連携が高まる法人運営を行ってまいります。

地域福祉事業では、令和2年度改訂予定の「第2次地域福祉活動計画」の策定について、元年度の事業評価を踏まえるとともに、早島町や関係団体との協働体制により住民ニーズを吸収し、地域支え合い活動、生活支援サービス、担い手育成等が高まる計画づくりを進めてまいります。

介護保険事業においても、令和2年度が次期介護保険等事業計画の策定年度であり、これまでの経営上の課題をしっかりと受け止め、事業間のいっそうの連携により次期計画期間に備えた収支の改善に努めてまいります。

社協が進める地域福祉は、公的制度と互助活動等がより補完的な関係として求められており、車の両輪である行政とのパートナー関係を強め、利用者や町民に良質で安心感のあるサービスや情報を提供してまいります。

また、社会福祉法人に求められる地域貢献体制づくりや利用者のための環境改善はもとより、職員の働き方改革や感染予防・衛生意識の向上を進め、組織の適正な規律のもと信頼される法人運営に努めてまいります。

(令和2年度事業計画書より抜粋)

■ 社協・事務局重点項目（重点目標）及び達成度

事務局重点項目（重点目標）	達成度
<p>1）第2次地域福祉活動計画の策定</p> <p>昨年度に評価作業を終えた『はやしまほっとプラン』に基づく5カ年の福祉活動の進捗状況の課題とその対応の方向性に沿い、2次計画の策定を行う。同時策定となる早島町の地域福祉計画へ、同プランや本会のコミュニティソーシャルワーク機能を位置づける働きかけを行い、地域福祉を進める官民の役割分担を明確にする。</p> <p>また、新たにモデル地区を指定し、課題の1つである「地区における助け合いの仕組みづくり」のあり方を継続して検証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の評価で課題とされた内容分野から、新たに策定委員を招聘。新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の影響で、設置が1カ月遅れたが、策定委員会（5回）を開催した。 同感染症の影響で住民福祉座談会を開催できず、1,000名無作為抽出の住民意識調査や児童等当事者を対象としたインターネット調査を代替実施。福祉団体や機関へのヒアリング調査も含めた結果に基づき、部会（10回）での課題や対策、策定委員会で計画案を協議。早島町の地域福祉計画と歩調を合わせ、令和3年度から6カ年となる2次計画の策定を完了した。 2次計画策定中も『暮らしの応援団』による買い物サロンの拠点拡大や『ほっとけんネット早島』によるフードバンク等の新活動の後方支援を事務局として行った。(A)
<p>2）総務業務の見直しと内部統制の再構築</p> <p>近年『ほっとプラン』推進に伴い業務が増大する中、法人運営、施設管理等の総務、労務管理や経理事務、地域福祉推進の業務を少人数の兼務で行う事務局において、マンパワー不足の状態が続いている。</p> <p>また、年間を通じ様々に並行する業務推進には、計画性や住民との企画調整力、経験が問われ、職員が入れ替わる中、育成に費やす時間が必要である。</p> <p>総務業務の分担を法人全体の中で見直し、事務局業務のスリム化を進めるとともに、新体制における内部統制の再構築を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 方針や目的に沿った業務遂行を心掛けるも、業務量とマンパワーのバランスが悪く、解決には至らなかった。 職員の勤務形態を一部見直し、不安定な勤務状況は落ち着くも、外部への報告事項等の対応遅滞が発生する状況は完全には解決できず、引継ぎ（方法や適性）について課題を残した。 最も大切な仕事の基本「ホウレンソウ」の徹底を心がけ、「仕事を円滑に進める、ミス・失敗をしない組織作り」を図る必要性を大いに感じた。 施設の管理・地域活動者への指針を示し、感染症対策を十分に行いながら事業を実施した1年となった。部署を超え職員が協力し合い、安心・安全な職場作りに努めることができた。(C)

＜達成度基準＞ A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満） C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満） D：目標をかなり下回る（80%未満）

■介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）及び達成度

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
居宅介護支援	<p>1) 専門性を活かした地域貢献</p> <p>介護支援専門員が個別支援で培った知識や経験を活かし、在宅介護に関する情報発信ができるよう、地域住民や在宅介護者の視点に立ったテーマ設定や資料作成を行う。また、その資料を用い、介護支援専門員が事務局と協働で主体的に地域の集いや福祉活動者の会合へ出向き、情報発信を行うなど、地域貢献をより意識した事業所づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉活動員分散定例会で、事例を使った介護保険制度・利用について情報発信を行った。その他、生活支援や外出支援活動の個別ニーズを積極的に事務局へつなげた。 下半期、給食サービス活動へプログラム提供（計24回）を行う。職員が地域の集いに主体的に参加することにより、事業所の広報に努めた。また、専門的内容をクイズ形式でわかりやすく提供することに努めた。事後に新たな相談対応につながった。（B）
	<p>2) 緊急時に備えた体制整備と介護用具リサイクル事業の新設</p> <p>一人暮らしや高齢夫婦世帯の利用者が増える中、所在不明時の適切な初期対応や、介護者の体調不良時の緊急対応が課題となっている。不測の事態へのリスク管理を強化すべく、想定されるリスクへの対応策を講じていく。また、在宅介護を環境面から支えるべく介護用具貸与事業の充実と共に、寄贈の申し出を受けた介護用具の有効活用を目的としたリサイクル事業を立ち上げたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内部事例検討会を定期的に行い、情報共有を行った。 緊急時に備え、情報システムへ利用者の顔写真、緊急時連絡手段を登録した。年度末の段階で未登録者がいるため、引き続き登録作業の実施と習慣化を行う。 介護用具リサイクル事業について、年代を問わず福祉用具全般のより多くのニーズをつなぎ合わせるべく、社会福祉法人連絡協議会で今後検討行う予定。介護用具貸与事業については、利便性の向上に向けた手続きの見直しを行い、名称を「福祉用具貸与事業」、呼称を「おたすけ福祉用具サービス（おたふく）」に変更。ホームページ等で広報を図った。（B）
	<p><運営状況総括></p> <ul style="list-style-type: none"> 要介護認定者の新規契約件数は、前年度比9件減の45件。契約解除件数は56件（前年度▲11件）。新規相談が例年より減少し、月平均請求件数は17件減少し、170件であった。 契約解除件数の内訳は、入所24件、永眠17件、長期入院9件、軽度化（要支援）が6件。他は医療S移行等。 要支援認定者は新規に8件受入れ。10件が契約解除し、内5件が重度化（要介護）、他は受託元へ移管等。 <p>∴令和2年度収支差引額：439千円（令和元年度収支差引額：1,488千円）</p>	

<達成度基準> A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満） C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）
 B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満） D：目標をかなり下回る（80%未満）

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
デイサービスセンター	1) 新規利用者の獲得とサービス提供の見直しによる経営の安定化 2年連続して厳しい経営状態になり、経営改善が第一優先課題となっている。広報活動を通じて新規利用者を獲得すると共に、利用者の現状やニーズに合わせたサービスの提供時間や利用回数の見直しにより経営改善を図る。また、感染症対策を徹底し、利用者が安心して利用継続できるように努める。	<ul style="list-style-type: none"> 居宅支援事業者に空き状況を細目に伝え、他の事業所が好まない短時間の利用希望も積極的に受けいれりと共に、既存の利用者に対しては利用回数やサービス提供時間の見直しを行なった。一時、黒字に転換出来ていたが、利用時間が長く利用回数の多い方の入院や入所が相次いだことと、2月に新型コロナウイルス感染症対策で利用を控える方が複数名あったことで、赤字決算となった。 感染症は、基本対策の徹底、活動ごとの手順の作成と見直しを継続して行った。入浴介助もマスクを着用して行ない、利用者家族には自宅での過ごし方について資料配布を行い、協力を得た。結果、内部での感染症の発生は抑えられた。（C）
	2) 作業の効率化と働きやすい職場環境の整備 昨年度、業務時間の効率化を図るために記録支援ソフトを導入しましたが日々の業務に追われ十分に活用できませんでした。また、職員によって作業手順や一つの作業にかかる時間にばらつきがあります。記録支援ソフトを十分に活用する事で記録にかかる時間の短縮化を図ると共に、作業のムリやムダを洗い出し、業務の見直しを行ないます。時間と気持ちにゆとりを生むことで働きやすい職場を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 記録用の支援ソフトの活用により、個人記録への入力が業務日誌に反映されるようになり、日誌記録に当たっていた時間が削減できた。 記録支援ソフトの使い方を設定どおりには使わず、入力する項目を必要なものだけに絞り込み、それ以外は全て特変ページに入力する事でページ切り替えにかかる時間を削減した。 職員間の作業のばらつきについては終業時のミーティングで話し合い、職員全員が実施できるかどうかを基準に対応の方法を決める事で標準化を図った。業務後の消毒等で終業時間が長くなったため順番で定時退勤が出来る仕組みを作った。（B）
	<運営状況総括> <ul style="list-style-type: none"> 通所介護と総合事業対象者をあわせた1日あたりの平均利用者数は26.5人（前年度比+0.6人） 入院や入所が相次いだことと新型コロナウイルス感染症による利用控えが影響し利用者の伸びが低迷した。 ∴令和2年度収支差引額：▲473千円（令和元年度収支差引額：▲4,058千円）	

<達成度基準> A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満） C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）
 B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満） D：目標をかなり下回る（80%未満）

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
ホームヘルパーステーション	1) 新規利用者の獲得とサービス提供の見直しによる経営の安定化 本会ならではの住民主体の見守り活動や生活支援活動と連携し、地域に密着した訪問介護サービスが提供できる強みをアピールする手段を講じ、新規利用者の確保を行う。また、現行の利用者に対する状況の変化を把握し、必要に応じサービス内容や訪問回数の見直しや、効率の良いシフト作成を行うことで経営改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の居宅介護事業所の利用者を含め積極的に新規利用者を獲得した。 終了者の今年度の傾向として26名のうち、死亡11名、入所7名、その他援助の必要がなくなった等の理由8名で、大半が再利用になる見込みがなく収入減の大きな一因となった。 常勤が訪問に出るようにシフトを組むように心がけたが、新型コロナウイルス感染症の対策などに時間を割かれ思うような成果につながらなかった。(C)
	2 専門知識の向上と情報の共有による質の高いサービスの提供 増加する『認知症』『精神障害』の利用者への対応として、引き続き研鑽を行い、質の高いサービス提供ができるよう努める。また、今後必要とされる『看取り』や関連する『医療知識』などの専門知識、様々な『感染症』についても、内部研修での共有及び対策を徹底し、安心できるサービス提供に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 難病の理解や精神障害の知識及び理解、認知症について内部研修でヘルパー全体の研鑽を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため内部研修を5月まで中止していたため、看取りの研修は行っていない。 新型コロナウイルス感染症について随時情報を入手し、マニュアルの作成を行い、ヘルパー全員に周知した。 利用者にも感染防止のための対策をお願いした。(B)
	〈運営状況総括〉 <ul style="list-style-type: none"> 今年度は新規契約が24件あったが、中止・死亡・入所された方が26件あった。新規の利用者は前年度より6件増えているが、終了者が新規数を上回ったことと、新型コロナウイルス感染症の影響による長期の利用休止が2件あり、延べ訪問回数が要支援合わせて520回の減少となった。 障害福祉サービスは、移動支援が長期入院者や新型コロナウイルス感染症の影響により利用減になったが、居宅介護はやや増加傾向となった。それに伴い訪問回数も昨年度に比べ117回増加となった。 介護保険外サービス事業は、定期利用者数に変化はなかったが、新規利用者（不定期利用）6名あり急な受診や入院の対応など柔軟に対応し、訪問回数が昨年度と比べ26回増加した。 ∴令和2年度収支差引額：▲3,563千円（令和元年度収支差引額：▲3,085千円）	

＜達成度基準＞ A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満） C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満） D：目標をかなり下回る（80%未満）

◆令和2年度事業実績

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営

〔1〕理事会の開催

(1) 要 点

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、理事会5回を開催した。
- ∴本会の事業計画（1議案）および予算（当初予算1議案、補正予算4議案）、事業報告（1議案）及び決算報告（1議案）、諸規程の制定及び改廃等の本会の運営において重要な案件（12議案）について協議した。

(2) 実施結果

開催日／出席数	決 議 事 項
令和2年5月12日（火） ／理事11名（11名） ／監事2名（2名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員会に諮る理事候補者の選定について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局長募集について
令和2年6月3日（水） ／理事11名（11名） ／監事2名（2名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会令和元年度事業実績報告について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会令和元年度一般会計収支決算報告について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員在宅勤務規程の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第1次補正予算（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止に伴う自粛活動等の今後の見込みについて ・第2次地域福祉活動計画策定委員会について
令和2年9月29日（火） ／理事11名（11名） ／監事2名（2名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇令和2年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第2次補正予算（案）について ◇協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革関連法改正に伴う関係規程等」（継続職員就業規則・嘱託職員賃金規程・登録ヘルパー賃金規程） ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止に伴う活動自粛等の状況について ・職員退職金制度について

<p>令和2年12月9日（水） /理事11名（11名） /監事 1名（2名）</p>	<p>◇令和2年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第3次補正予算（案）について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会嘱託職員賃金規程の一部を改正する規程について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会登録ヘルパー賃金規程の一部を改正する規程について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会継続職員就業規則の一部を改正する規則について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員に諮る理事候補者の選定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会が設置経営する施設長等の選任について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会資金運用責任者の任命について ◇指名事項 ・社会福祉法人早島町社会福祉協議会常務理事の指名について ◇報告事項 ・評議員選任候補者・理事選任規程内規について ・令和2年度上半期決算概要について ・感染拡大防止に伴う活動自粛等の状況について ・福祉映画会について ・「第2次地域福祉活動計画（ほっとプラン）」の策定状況について</p>
<p>令和3年3月23日（火） /理事11名（11名） /監事 2名（2名）</p>	<p>◇令和2年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第4次補正予算（案）について ◇令和3年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業計画（案）について ◇令和3年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計当初予算（案）について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会福祉用具貸出事業実施要綱の制定（案）について ◇報告事項 ・第2次早島町地域福祉活動計画について ・共同募金運動の実績報告について ・生活福祉資金貸付事業相談条項について</p>

〔2〕評議員会の開催

（1）要 点

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、評議員会4回を開催した。
- ∴本会の事業計画（1議案）および予算（当初予算1議案、補正予算4議案）、事業報告（1議案）及び決算報告（1議案）、諸規程の制定及び改廃等の本会の運営において重要な案件（9議案）について協議した。

(2) 実施結果

開催日／出席数	決議事項
令和2年6月19日（金） ／評議員18名（21名） ／監事2名（2名）	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会令和元年度事業実績報告について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会令和元年度一般会計収支決算報告について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員在宅勤務規程の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について ◇令和2年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第1次補正予算（案）について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会理事の選任について ◇報告事項 ・新型コロナウイルス感染防止に伴う自粛活動等の今後の見込みについて ・第2次「早島町地域福祉活動計画」策定委員会について
令和2年10月6日（火） ／17名（21名）	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会令和2年度一般会計第2次補正予算（案）について ◇協議事項 ・令和2年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会「働き方改革関連法案改正に伴う関係規則等」 1 継続職員就業規則 2 嘱託職員賃金規程 3 登録ヘルパー賃金規程 ・社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員選任候補者選出規程（内規）について ◇報告事項 ・感染拡大防止に伴う活動自粛等の状況について ・共同募金運動について ・共同募金運動について ・社会福祉法人連絡協議会について ・第1次地域福祉活動計画評価委員会について ・理事等選任規程、及び選任規程内規の改正について
令和2年12月21日（月） ／19名（21名）	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会令和2年度一般会計第3次補正予算（案）について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会嘱託職員賃金規程の一部を改正する規程について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会登録ヘルパー賃金規程の一部を改正する規程について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会継続雇用職員就業規

	<p>則の一部を改正する規則について</p> <p>◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会理事の選任について</p> <p>◇報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任候補者選出・理事選任規程内規について ・令和2年度上半期決算概要について ・共同募金実施状況について ・感染拡大防止に伴う活動自粛等の状況について ・福祉映画会について ・第2次地域福祉活動計画（ほっとプラン）の策定状況について ・早島町社会福祉協議会が経営する施設長等の選任、資金運用責任者の任命、常務理事の指名について
令和3年3月30日（火） ／17名（21名）	<p>◇令和2年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第4次補正予算（案）について</p> <p>◇令和3年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業計画（案）について</p> <p>◇令和3年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計当初予算（案）について</p> <p>◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会福祉用具貸出事業実施要項の制定（案）について</p> <p>◇報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次早島町地域福祉活動計画について ・共同募金運動の実績報告について ・生活福祉資金貸付事業相談状況について

〔3〕 評議員選任・解任委員会の開催

(1) 要 点

- ・本会の定款に基づき、評議員選任・解任委員会1回を開催した。
- ∴理事会において推薦された評議員候補者（1名）について審議し、選任した。

(2) 実施結果

開催日／出席数	決 議 事 項
令和2年5月12日（火） ／委員3名	◇評議員の選任について

〔4〕 内部監査の実施

(1) 要 点

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、監事会1回を開催した。
- ∴本会の事業実績報告書により業務執行状況を、決算書及び諸帳票により財務状況の監査を実施し、問題がなかったため監査報告書を作成した。

(2) 実施結果

開催日／出席数	決 議 事 項
令和2年5月22日（金） ／監事2名	◇令和元年度事業実績状況（報告書）の監査 ◇決算（書）及び諸帳票の監査

〔5〕 役員の先進地視察研修の実施

(1) 要 点

- ・他市町村の住民主体の地区福祉活動先進地を視察し、本町における地区福祉活動のあり方を検討する機会とするため、住民福祉関係者と合同で先進地社協へ視察研修を行っている。

(2) 実施結果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催を中止した。

〔6〕 人事管理制度の推進

(1) 要 点

- ・平成25年度から開始した人事管理制度の円滑な推進の為、第三者（コンサルティング会社）の助言を受けながら、人事管理制度運用検討会を6回行った。
- ・働き方改革法の「同一労働同一賃金の原則」に従い、正職員と嘱託職員の役割の明確化や嘱託職員の賃金体系の見直し協議を進めた。
- ・前年度に引き続き、介護部署の赤字解消に向けた各部署の目標数値を設定し、本会議毎に状況を確認。事務局も補助金及び受託金内での事業執行に向け、光熱水費や通信費を中心に、委託やリース契約、事務通信方法の経費見直しを実施、改善の成果を挙げた。

(2) 実施結果

◇人事管理制度運用検討会（全8回）

開催日／出席者数	協 議 事 項
令和2年 6月16日（木） ／11名	◇目標進捗状況の共有
令和2年 7月21日（火） ／11名	◇決算状況の分析と部署別目標数値化協議 ◇嘱託職員の賃金体系について
令和2年 8月18日（火） ／9名	◇嘱託職員の賞与支給について ◇正規職員と嘱託職員の役割の明確化について
令和2年10月 5日（月） ／8名	◇正規職員と嘱託職員の役割の明確化について ◇介護事業の収支状況
令和2年11月16日（月） ／13名	◇中間収支決算報告 ◇雇用形態別の役割の相違について
令和2年12月24日（木） ／13名	◇考課者研修（考課者や面接者の心得・ケーススタディー）
令和3年 2月26日（金） ／5名	◇人事評価集計結果の調整
令和3年 3月26日（金） ／10名	◇人事評価集計結果の最終調整 ◇次年度の重点目標とフィードバック面接の状況確認

〔7〕 早島町内社会福祉法人連絡協議会の連携支援

(1) 要 点

- ・社会福祉法改定に伴い、昨年度設立した町内の社会福祉法人の連携組織の事務局として、同協議会活動の支援を行った。

∴新規事業として、生活困窮者への食材提供支援（フードバンク）を開始した。

∴新規事業として、青少年育成団体活動への車両貸出の試行を開始した。

(2) 参加法人名（運営施設名）

①社会福祉法人 戸川児童福祉会（早島保育園）

②社会福祉法人 中野社会福祉協会（かんだ保育園・わかみや保育園）

③社会福祉法人 敬仁会（特別養護老人ホーム白亜館・デイサービスセンター白亜）

④社会福祉法人 リンク（早島地域生活支援センター・ヒトノワ・With 広場早島）

⑤社会福祉法人 早島町社会福祉協議会（事務局・居宅介護支援センター・デイサービスセンター・ホームヘルパーステーション）

※④「社会福祉法人 リンク」は、オブザーバーとして参画。

(3) 実施結果

開催日／出席者数／会場	協議事項
総会 令和2年 9月30日（水） ／13名／オアシス早島	◇令和元年度事業報告及び決算について ◇令和2年度事業計画及び予算について
幹事会 令和2年12月 9日（水） ／12名／オアシス早島	◇会計について ◇試行事業の進捗状況について

Ⅱ. 地域福祉事業

1. 広報事業活動の推進

〔1〕社協だより発行

(1) 要点

・町民に対する社協活動や住民福祉活動等の情報提供手段として、広報誌「はやしま社協だより」を年4回発行。

∴部署により情報発信に差があるが、福祉啓発の根本となる広報の重要性を全体で再共有する必要がある。

(2) 発行実績

◇第117号（夏号） 令和2年 6月下旬発行（5,200部）

◇第118号（秋号） 令和2年10月下旬発行（5,200部）

◇第119号（新春号） 令和2年12月下旬発行（5,200部）

◇第120号（春号） 令和3年 3月下旬発行（5,200部）

〔2〕ホームページによる福祉情報の発信

(1) 要点

・地域福祉活動計画（ほっとプラン）に基づき、町内の福祉活動や本会の事業活動をホームページにより効果的に発信した。

・町内の福祉活動や本会の事業活動を Facebook によりリアルタイムに発信した。

∴部署により情報発信に差があり、福祉啓発の根本となる広報の重要性を全体で再共有する必要がある。

(2) 実施結果

○Facebook 年間投稿記事数

発信部署	発信件数（前年度比）
事務局	53件（+3件）
居宅介護支援センター	5件（±0件）
デイサービスセンター	0件（▲4件）
ホームヘルパーステーション	0件（±0件）
合計	58件（▲1件）

〔3〕地域福祉活動計画の策定^新

(1) 要点

- ・民間の福祉活動行動計画である地域福祉活動計画（ほっとプラン）の改定作業を行う。
 - ・地域の住民福祉団体・地縁組織や保健・医療・福祉関係機関、行政関係機関、学識経験者、ボランティア・当事者組織等から選出された20名の委員と2名の顧問による策定委員会を5回開催した。
- ∴パブリックコメントを経て、年度末に答申式を実施。改定作業を無事終えた。

(3) 実施結果

①策定委員会の開催

	開催年月日	内容	参加者数
第1回	令和2年 7月20日（月）	◇活動計画の主旨説明 ◇1次計画実施状況と評価結果説明	22名
第2回	令和2年 8月下旬	◇住民意識調査及びヒアリング実施 計画の協議 ※感染症対策により書面決議	22名
第3回	令和2年11月26日（木）	◇住民アンケート調査等結果報告 ◇早島町の強みと弱みの協議 ※部会扱い	13名
第4回	令和3年 2月18日（木）	◇2次計画策定の骨子及び体系図、 計画素案の協議	20名
第5回	令和3年 3月11日（木）	◇2次計画素案の協議	22名

②福祉活動者へのヒアリング調査の実施

調査時期	令和2年8月17日（月）～9月1日（火）
調査手法	郵送調査／調査シートを団体代表者へ郵送し、記入後に郵送返信。
調査対象者	【個人】93名 A.自治会長28名 B.自主防災会長22名 C.民生委員21名 D.主任児童委員2名 E.単位老人クラブ会長20名 【団体】53団体 F.地域福祉関係団体（3団体） G.福祉ボランティアグループ（9団体） H.地域福祉活動団体（32団体） I.福祉当事者組織（6団体） J.福祉関係団体（6団体）

設問数及び内容	18問 ①ボランティアや福祉活動の経験や内容 ②ボランティアや福祉活動を通じ感じる課題や要望 ③福祉活動を進める環境と日常生活を通じた支援対象者や困りごと ④第1次計画の課題への対応策や社会福祉協議会へのご意見（ご提案）
回答率	78.6%（96票／122票）※重複24票（名）を除く

③福祉専門職へのヒアリング調査の実施

調査時期	令和2年8月17日（月）～9月1日（火）
調査手法	郵送調査／調査シートを事業所代表者へ郵送し、記入後に郵送返信。
調査対象者	【福祉施設】25施設・事業所 A.児童関係4施設・事業所 B.介護関係9施設・事業所 C.障がい者関係12施設・事業所 【福祉関係機関施設】5機関 D.行政関係4機関 E.教育関係1機関 【医療関係機関】7機関 F.病院・診療所4機関 G.薬局3機関
設問数及び内容	18問 ①業務内容 ②業務を通じ把握する地域生活の課題と解決のための取り組み ③地域福祉活動への町民参加や活動を支援する取り組み ④社会福祉協議会への意見・提案
回答率	82.4%（28票／34票）※重複3票（事業所）を除く

④住民の福祉活動に関するアンケート調査の実施

調査時期	令和2年10月1日（木）～14日（水）
調査手法	郵送調査／アンケート調査票を対象者に郵送し、記入後に郵送返信。
調査対象者	A. 早島町全域／20歳以上の町民／1,000名 B. 福祉活動員79名
対象抽出方法	無作為抽出
設問数及び内容	30問（選択式28問／記述式2問） ①回答者属性について ②地区内の近所づきあいや地区の状況について ③回答者や家族の困りごとや福祉活動の進め方について ④早島町全体の福祉や社会福祉協議会、「ほっとプラン」について
回答率	41.9%（450票／1,072票）※重複7票（名）を除く

⑤インターネットによる調査の実施

調査時期	令和2年10月12日（月）～23日（金）
調査手法	インターネット調査／調査対象関係機関等経由で調査案内チラシ配布。
調査対象者	早島町内の A.児童生徒及び保護者、B.障がいがある方、C.外国人
設問数及び内容	17問 ①回答者属性について

	②生活上や他者とのコミュニケーション等における困りごと ③相談相手、受けたいサポート、近所づきあいや支え合い ④住んでよかったと思えること、幸福度 等
回答数	33票

⑥部会の開催

	開催年月日	部会名	参加者数
第1回	令和 2年11月26日(水)	第3回策定委員会	12名
第2回	令和 2年12月15日(木)	交流活動部会①	13名
第3回	令和 2年12月18日(金)	社会貢献部会	7名
第4回	令和 2年12月24日(木)	児童福祉教育部会	5名
第5回	令和 3年 1月 8日(金)	交流活動部会②	22名
第6回	令和 3年 1月12日(火)	障がい児福祉部会	4名
第7回	令和 3年 1月12日(火)	障がい者福祉部会	9名
第8回	令和 3年 1月15日(金)	福祉コミュニティ部会	11名
第9回	令和 3年 1月21日(木)	福祉啓発部会	10名
第10回	令和 3年 1月25日(月)	生活支援活動部会	11名

〔4〕早島の匠ミニギャラリーの開催

(1) 要 点

- ・地域福祉センターオアシス早島1階ロビーを活用し、町内住民やグループによるミニ作品展を開催している。

(2) 実施結果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催を中止した。

2. 会費・寄付・募金の収受

〔1〕住民会員・会費の募集

(1) 要 点

- ・社会福祉に関心を有し、本会の趣旨・事業に賛同した個人又は団体等の会員を募るものである。本年度の結果は下記のとおりとなった。
- ∴特定団体からの会費であり、広く会費を募集する方法を検討する必要がある。

(2) 実施結果

区 分	会員数	□ 数	金 額
賛助会費・団体	34件	1□	68,000円
合 計	34件	1□	68,000円

〔2〕一般寄付等の受納

(1) 要 点

- ・一般寄付・満中陰志を受納し、その寄付金を地域福祉推進のための事業を実施するほほえみ基金事業の原資となる基金へ積立てを行った。
- ∴一般寄付は5件（前年度比+3件）、満中陰志6件（前年度比▲5件）となった。

(2) 寄付金実績

区 分	件 数	金 額
一般寄付	5件	81,542円
満中陰志	6件	140,000円
合 計	11件	221,542円

〔3〕共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進

(※岡山県共同募金会-早島町共同募金委員会事務)

(1) 要 点

- ・地域福祉の推進という目的のもと、共同募金の役割や使い道の周知を図り、「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに様々な募金活動による呼びかけを行う。また、共同募金の適正かつ効果的な助成や配分により、地域課題の発見や新たな支え合い構築など福祉活動を支援する。
- ∴赤い羽根共同募金の募金実績は、前年度よりも増額となったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、街頭募金とイベント募金は、大きく減額となった。外部イベントへの参加だけではなく、単独で実施できる新企画を検討する必要がある。

(2) 実施結果

①赤い羽根共同募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	1,008,415円	12,263円
街頭募金	4,263円	▲10,428円
学校募金	44,252円	7,042円
個人募金	20,000円	10,000円
法人募金	365,414円	39,645円
イベント募金	0円	▲11,670円
職域募金	127,600円	24,563円
その他の募金	70,629円	18,428円
通帳利息	14円	8円
	1,640,587円	89,851円

②歳末たすけあい募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	951,614円	▲797円
個人募金	0円	0円
その他の募金	0円	0円
通帳利息	2円	1円
	951,616円	▲796円

③共同募金運動推進活動

開催日	行事名	募金実績
令和2年 9月9日(水)	早島中学校街頭募金	0円
令和2年10月1日(木)	早島駅前街頭募金	3,328円
令和2年10月1日(木)	マルナカ早島店前街頭募金	935円

3. 住民参画型生活支援活動の推進

〔1〕外出支援活動の検討

(1) 要 点

- ・地域福祉活動計画（ほっとプラン）に基づき、平成27年度末から開始した町内の高齢者や障がい者の社会参加の促進を目的とした外出支援活動の検討を継続実施。
- ・福祉有償運送事業とサロン活動や給食サービス活動参加者の送迎活動について実施状況の共有を行った。
- ∴実利用団体数は、不定期利用のサロンからの要望が減少（前年度比▲3団体）。給食サービスは、新規追加（1団体）があった。
- ∴新型コロナウイルス感染防止対策で2月下旬からのサロンや給食サービスが中止となり、延べ運行回数（前年度比▲5回）は減少した。

(2) 外出支援活動検討会の開催

開催日	主な検討事項
令和 2年 4月21日(火)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和 2年 5月19日(火)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和 2年 6月29日(月)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 2年 7月21日(火)	・外出支援活動の趣旨確認、登録車輛の増車について
令和 2年 8月18日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 2年 9月15日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 2年10月20日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 2年11月17日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 2年12月15日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年 1月19日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年 2月16日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年 3月16日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動

(3) サロン等送迎活動実績

○実利用団体数；6団体

[内 記]サロン；0団体（▲3団体）、給食サービス；6団体（±0団体）

○延べ運行回数；156回（▲32回）

○延べ利用者数；853名（▲102名）

〔2〕暮らしの応援団活動の支援

(1) 要 点

- ・ゴミ出しや買い物支援など、高齢者世帯等における生活課題に対応すべく、昨年度組織化した住民主体の生活支援活動団体の試行活動の充実を図る検討や調整、活動者募集を行う。
- ∴町域での定期活動延べ利用件数（前年度比+11件）及び不定期活動延べ利用件数（前年度比+14件）がそれぞれ前年度から増加した。
- ∴自治会と協働の移動スーパーの誘致による「買い物サロン」活動の拠点拡大に向け、8月に説明会を設け、11月から新拠点拡大を図り、登録応援団員の活動参画が増加（新規12名）。26拠点まで拡大後、統廃合により年度末には23拠点到整理された。

(2) 生活支援活動実績

○定期活動

支援内容	実利用者数	延べ利用件数	実活動者数	延べ活動者数	備考
ゴミ出し	5名	241件	3名	264名	原則：可燃物
買い物代行	1名	26件	2名	26名	独居高齢
食事づくり	0名	0件	0名	0名	
話し相手	0名	0件	0名	0名	
合計	6名	267件	5名	290名	

○不定期活動

支援内容	実利用者数	延べ利用件数	実活動者数	延べ活動者数	備考
付添い支援	5名	7件	0名	7名	買い物・病院
家屋内整理掃除	6名	8件	14名	19名	可燃・不燃物・資源物
家屋等修繕	11名	16件	6名	29名	電灯取替・網戸取替等
庭・植栽整備	6名	9件	16名	26名	花植替・畑整備・木伐採等
合計	28名	38件	34名	81名	

○地区活動（買い物サロン）

地区名	購入者数	開催回数	実活動者数	延べ活動者数	備考
金田	517名	52回	5名	156名	
塩津	855名	52回	5名	193名	
長津	141名	52回	1名	26名	
片田	321名	53回	2名	82名	
ニュー早島	252名	52回	2名	74名	
備南台	74名	52回	1名	52名	
真磯台	115名	52回	4名	24名	
樽島	152名	52回	1名	4名	
宮崎	462名	52回	4名	130名	
日笠山	112名	21回	4名	43名	11月7日から新設
三軒地	173名	22回	4名	66名	11月3日から新設
畑岡	112名	22回	1名	21名	11月3日から新設
下野	54名	20回	2名	22名	11月7日から新設
塩地	133名	20回	2名	17名	11月5日から新設
無津	182名	20回	2名	25名	11月5日から新設
大池	98名	20回	1名	19名	11月5日から新設
久々原	137名	20回	2名	39名	11月7日から新設
下野	54名	20回	2名	22名	11月7日から新設
市場	279名	20回	1名	11名	6月10日から新設
矢尾	231名	35回	0名	0名	9月9日から新設
中山	119名	30回	1名	34名	6月10日から新設2月27日まで
前潟	198名	36回	3名	76名	6月10日から新設2月20日まで
下前潟	148名	37回	1名	12名	7月8日から新設
舟本	185名	42回	0名	0名	11月3日から新設

小 浜	277名	41回	0名	0名	6月10日から新設
頓 行	288名	41回	0名	0名	6月10日から新設
合 計	5,669名	936回	51名	1,148名	

〔3〕暮らしの応援カフェの運営支援

(1) 要 点

- ・ゴミ出しや買い物等の町民同士の支え合いの活動について、「はやしまほっとプラン」の指針の検証と試行を住民目線で行いながら、現実的な生活支援活動を模索する茶話会を開催する。原則として毎月10日に開催。
- ∴新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、8月にカフェを再開した後は偶数月の開催とした。
- ∴本会事務局で導入したスマートフォンのSNS機能（LINE）を活用し、応援団員と常時情報共有ができる仕組みを構築。定例会の回数は減ったが、情報共有頻度や速度は上がった。

(2) 茶話会等開催実績

開催日／参加者	主な検討事項
令和2年 4月10日（金）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和2年 5月 8日（金）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和2年 6月10日（水）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和2年 7月10日（金）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和2年 8月21日（金） ／住民14名・専門職1名	・買い物サロン連絡会 ・既存サロンとの情報共有と新設サロンの日程調整 等
令和2年 9月10日（木）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和2年10月 9日（金） ／住民24名・専門職2名	・地区連携協議、試行活動報告・募集 等
令和2年11月10日（火）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和2年12月10日（木） ／住民21名・専門職2名	・忘年会、試行活動報告・募集 等
令和2年 1月 8日（金）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和3年 2月10日（水） ／住民27名・専門職2名	・勉強会（生活困窮者）、試行活動報告・募集 等
令和3年 3月10日（水）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。

(3) 参加者数

- 実参加者数：住民35名・専門職名4名
- 延べ参加者数：住民104名・専門職8名

4. 福祉活動員活動の支援

〔1〕福祉活動員協議会活動の支援

(1) 要 点

- ・各自治会町内会から選出された「福祉活動員」79名で組織する「福祉活動員協議会」の事務局として、福祉活動員の活動支援を行った。
- ∴新型コロナウイルス感染拡大防止対策で総会を書面決議で行い、定例会を分散定例会に変更し、15回開催。

- ∴例年年度初めの実施する「福祉マップ」の更新は、民生委員と福祉活動員で把握する情報をもとに作成した。
- ∴年間に渡り、積極的な見守り活動が出来なかったこともあり、期末アンケートでは、例年に比べ、近所づきあいや福祉活動の必要性の認識度がやや低かったが、今後の福祉活動に向けては、協力意識の高まりを感じられる結果となった。

(2) 定例会等開催実績

開催日／参加者等	活動区分	主な内容等（研修テーマ）
令和2年 4月／書面決議	総会	活動計画・予算の確認、役員を選任
令和2年 6月11日（木） ／63名 6月15日（月） 6月17日（水） 6月18日（金） 6月25日（木） 6月26日（金）	分散 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会事業と福祉活動員の役割 ・町内相談機関の紹介 ★意見交換（民生委員との意見交換） 『福祉マップ更新について』 『夏季友愛訪問について』
令和2年 7月～	実践活動	夏季一斉友愛訪問活動 ※中止
令和2年 9月18日（金） ／57名 9月23日（水） 9月24日（木）	分散 定例会	事例から学ぶ介護保険制度
令和2年10月14日（水） ／24名	交流会	グラウンドゴルフ交流会
令和2年11月 2日（月） ／48名 4日（水） 5日（木）	分散 定例会	高齢者の特徴とコミュニケーションについて
令和2年12月1日～13日	実践活動	年末大掃除活動（75歳以上高齢者世帯等）
令和3年 2月24日（水） ／37名 25日（木） 26日（金）	分散 定例会	今年度の振り返りと次年度活動について

(3) 期末アンケート結果 [抜粋]

〔設問〕 近隣づきあいや福祉活動の必要性に対する認識について	回答者数	回答率
大変重要と考えるようになった	10名	15.9%
必要性の認識が高まった	33名	52.4%
何となく必要性を感じた	18名	28.6%
必要性を感じない	1名	1.6%
未選択	1名	1.6%
〔設問〕 今後の福祉活動について	回答者数	回答率
できるだけ地区や町内の福祉活動に協力していきたい	13名	20.6%
要請があれば地区や町内の福祉活動に協力していきたい	18名	28.6%
できる範囲で近所づきあいを大切にしていきたい	31名	49.2%
あまり近所づきあいはしたくない	0名	0%
未選択	1名	1.6%

※アンケート回収率：79.7%（63名／79名）

5. 地区福祉活動の推進

〔1〕高齢者給食サービス活動の推進

(1) 要点

- ・独居や高齢者世帯、障がい者等を対象として、給食ボランティアグループがバランスのとれた食事とふれあい交流の場を提供する。
- ・食材費等の助成や、活動を支援するためのアドバイスを行う。
- ・ボランティア同士の活動に関する情報共有を目的とした連絡会や衛生管理指導（チェック表の運用、衛生用品の支給等）を継続して行う。
- ∴令和2年4月から8月までは、岡山県内での新型コロナウイルスの感染拡大のため活動を中止した。9月下旬から、会場でのレクリエーションと購入した業者弁当を持ち帰ってもらう方法に変更して再開し、感染症対策を意識しながら実施した。
- ∴コロナ禍における活動の検討とグループ間での情報共有を目的に連絡協議会を4回開催。3回目には薬剤師会の講師を招き新型コロナウイルスに関する理解を深めた。

(2) 活動実績

団体名	利用者数	提供者数	延べ実施回数	延べ利用者数	延べ提供者数
クローバー	14	5	13	143	59
コスモス	21	13	13	164	80
スプリング	21	5	13	194	58
たんぽぽ	19	9	13	124	71
マスカット	18	6	13	223	72
ひまわり会	18	6	12	192	59
スマイル若宮	30	22	13	276	98
市場撫子の会	19	8	13	209	62
合計：8団体	160	74	103	1,525	559

(3) 連絡会等開催実績

①第1回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和2年8月21日（金）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	22名（8グループ）
内容	・協議（「高齢者等給食サービス事業」活動再開へ向けた提案等） ・事務連絡（助成金の取り扱い、エプロンの配布等について説明）

②第2回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和2年9月28日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	20名（8グループ）
内容	・協議（9月の試行開催についての情報共有、下半期の活動内容等） ・事務連絡（上半期と下半期の助成金の取り扱い等）

③第3回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和2年12月14日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	14名（8グループ）

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講習「コロナ禍における衛生管理について」 講師：薬剤師会倉敷支部 副支部長 林田晴介氏 ・協議（今後の活動への意見交換、「ほっとプラン2」策定作業部会等）
-----	---

④第4回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和3年3月22日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	16名（8グループ）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・協議（今年度活動の振り返り、来年度の活動の方向性について等） ・事務連絡（今年度の利用料の取り扱い、実績報告書と申請書について等）

〔2〕ふれあい・いきいきサロン活動の推進

（1）要 点

- ・気軽にふれあい交流や仲間づくりができる場を提供する活動に対し、プログラム調整や活動費助成等の支援を行った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛が影響し、年間開催なしの団体が半数近くあり、延べ利用者数及び延べ協力者数は減少。
- ・助成金取り扱いについては、年4回以上を例外撤廃し支給。

（2）サロン活動団体（合計24団体）

サロン名	開催場所	対象地域	延べ利用者数	延べ協力者数	実施回数	活動内容
四つ葉会前潟	前潟公民館	前潟・下前潟	33	32	2	訪問活動等
しゃべろうかい	宮崎公民館	宮崎	16	4	2	麻雀、季節行事
中山ふれあいサロン さつき会	中山集会所	中山	0	0	0	
いきいきサロン市場	さつき荘	市場	60	24	4	体操、季節行事
弁天井戸端喫茶	弁才天公民館	弁才天	0		0	
サロン・ひだまり	備南台公民館	備南台	29	6	3	部会活動
なしず会	無津公民館	無津	8	1	1	訪問活動
日笠山さくら会	日笠山公民館	日笠山	82	19	2	季節行事、講話
喫茶とよく	頓行公民館	頓行	4	8	1	創作活動
いきいきサロン三軒地	三軒地公民館	三軒地	15	6	2	講話
塩津いきいきサロン	塩津公民館	塩津	0	0	0	
サロン市場健康促進の会	床田遊園地市場公民館	市場	0	0	0	
いきいきサロン久々原	久々原公民館	久々原	0	0	0	
片田ふれあいサロン	片田公民館	片田	15	5	1	講話
舟本コミュニケーションクラブ	舟本早島	舟本	20	9	3	体操、講話等
喜楽亭	大谷荘	若宮	0	0	0	

ふれあいサロン樽島	樽島公民館	樽 島	0	0	0	
金田いきいきサロンにじ	西コミュニ ティハウス	金 田	1	19	1	室内活動
長津・畑岡ほっとサロン	いぶき荘	長津・ 畑岡	0	0	0	
イトーピア早島サロン	イトーピア 集会所	イトー ピア	42	21	4	茶話会、創作活動、 季節行事
サロン矢尾	矢尾公民館	矢尾	0	0	0	
ニュー早島 にこにこサロン	ニュー 早島荘	N早島	0	0	0	
下野のんびり友の会	下野公民館	下 野	0	0	0	
すまいるサロン小浜	3匹の子ブタ	小 浜	0	0	0	
合 計 / 延べ利用者数325人 / 延べ協力者数154人 / 実施回数26回						

(3) 連絡会（研修会）開催実績

①第1回／ふれあい・いきいきサロン研修会

開催年月日	令和3年1月8日（金）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	20名
内 容	「（コロナ禍における）早島町内での今後の交流活動の進め方について」

(4) 助成金交付実績

49,000円（12団体）

〔3〕夏季一斉友愛訪問活動の実施

(1) 要 点

- ・70歳以上の方が居住する世帯及び年齢や同居の有無を問わず声かけが必要な要援護者を対象に、熱中症予防啓発と地域との関係づくりを目的に、民生委員・福祉活動員の協力を得て、全地区一斉の友愛訪問を行う。

(2) 実施結果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催を中止した。

〔4〕年末大掃除おたすけサービスの実施

(1) 要 点

- ・75歳以上の高齢者世帯の方、または障がい者世帯の方へおたすけ員を派遣し、年末大掃除の負担軽減を図った。おたすけ員としては、民生委員及び福祉活動員、地域のボランティア等多くの住民の方々に広く協力を求めた。
- ∴民生委員及び福祉活動員経由で、広報とサービス希望世帯の申し込みを取りまとえたが、町内における新型コロナウイルス感染症の発生により活動を中止とした。

(2) 活動実績 ※申込時点

開催年月日	令和2年12月1日（月）から12月11日（金）
サービス実施世帯数	25世帯（高齢者世帯24件、障がい者1件）
おたすけ員協力者数	34名
おたすけ員協力者 内訳	民生委員8名、福祉活動員20名、暮らしの応援団5名、ボランティア0名、社協登録ヘルパー0名、社協職員1名

〔5〕地区福祉活動の支援

(1) 要 点

- ・地区会合へ参加し、地区住民協働で自治会単位での福祉活動の活性化やあり方を検討した。また、その福祉活動の検討や活動に対し、「赤い羽根福祉のまちづくり助成事業」により、活動助成を行った。
- ・その他、サロン活動や給食サービス活動等へ訪問し、地区福祉活動の支援を行った。
- ∴従来、福祉活動モデル地区だった片田地区を含め3地区で福祉活動の検討や具体的な活動立案や試行活動の支援をすることができた。
- ∴コロナ禍で、サロン活動等の地域交流行事が停滞したが、事務局職員による買い物サロン活動の拠点拡大調整と、介護支援専門員による給食サービスプログラム支援訪問開始により、地区訪問件数は増加した（訪問回数：前年度比+21回、延べ訪問職員数：前年度比±0回）。

(2) 活動実績

①自治会の福祉活動支援（2地区）

○片田自治会（助成金額5万円）

- ・救急医療情報キットの更新（通年）

○金田自治会（助成金額10万円）

- ・福祉活動検討会の開催（7月）
- ・移動支援活動の実施（通年）
- ・買い物支援活動の試行（通年）

○ニュー早島自治会（助成なし）

- ・福祉活動の検討（12月）

②職員訪問による地区福祉活動の支援

	事務局職員	介護支援専門員	合計
訪問回数	71回	24回	93回
実訪問職員数	4名	6名	10名
延べ訪問者職員数	72名	45名	117名

6. 福祉啓発（教育）の推進

〔1〕夏のボランティア体験事業

(1) 要 点

- ・夏季休暇期間を活用して、学生（中学・高校・大学等）や地域住民の方を対象に、町内の福祉（教育）施設やボランティア団体の方々の協力を得ながら実施している。

(2) 実施結果

- ∴岡山県内での新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、事業は中止した。

〔2〕福祉教育への協力支援

(1) 要 点

- ・早島小学校から要請を受け、総合的な学習「ふくし」の導入として4年生を対象に出前福祉講座を実施した。
- ∴出前車イス体験講座を実施。車椅子の操作方法を体験学習すると同時に、車椅子を利用する当事者への共感や視点取得を促した。

(2) 実施結果

①出前車イス体験教室

開催年月日	令和2年7月16日(木)
開催場所	早島小学校体育館
内 容	車椅子の基本操作の説明と体験

〔3〕コミュニケーション麻雀普及推進

(1) 要 点

- ・ 多人数が楽しめ仲間づくりや介護予防活動に役立つ『コミュニケーション麻雀』の普及と新たな地域活動参加者(普及員)発掘を目的に月2回『コミュニケーション麻雀を楽しむ会』を開催した。
- ∴『コミュニケーション麻雀を楽しむ会』を18回(前年度比▲3回)開催し、延べ184名(前年度比▲215名)が参加した。
- ∴普及員の派遣は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、依頼はなかった。

(2) 実施結果

	普及行事名等	参加者数	備 考
4月	楽しむ会(中止)	0名	定例会
5月	楽しむ会(中止)	0名	定例会
6月	楽しむ会(2回)	25名	定例会
7月	楽しむ会(2回)	19名	定例会
8月	楽しむ会(2回)	18名	定例会
9月	楽しむ会(2回)	20名	定例会
10月	楽しむ会(2回)	21名	定例会
11月	楽しむ会(2回)	22名	定例会
12月	楽しむ会(1回)	13名	定例会
1月	楽しむ会(2回)	16名	定例会
2月	楽しむ会(1回)	9名	定例会
3月	楽しむ会(2回)	21名	定例会

〔4〕障がい者作品展の開催

(1) 要 点

- ・ 障害者週間にあわせ、障がい者の方の作品展を開催し、町民に対し、障がい者福祉への理解を深める機会とした。
- ∴出展者数(前年度比▲3名)及び出展作品数(前年度比▲1作品)は、前年度より減少。

(2) 実施結果

開催年月日	令和2年12月1日(火)から12月12日(土)
開催場所	早島町地域福祉センター
主 催	早島町社会福祉協議会
共 催	早島町身体障がい者福祉協会、早島つばさの会、ほのぼの会、難病の会 喜楽会
出展者数	25名(30作品)

〔5〕福祉映画会の開催

(1) 要 点

- ・住民協働での個別ケアや福祉活動の活性化へ向けた機運をより高めていく機会として、福祉や介護・医療等の幅広い関連分野をテーマとした映画会を開催している。
- ∴新型コロナウイルスの流行による、感染者への差別が国内で発生していることを受け、元ハンセン病患者を題材とした映画の上映を通じて町民に意識づけを促すことを目的に選定。下記の映画作品の上映を計画し、広報チラシを町内全戸配布したが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、感染拡大防止措置として開催を中止。

(2) 実施結果

開催年月日	令和3年2月13日(土)
開催場所	早島町町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール
主 催	早島町社会福祉協議会
共 催	早島町
協力団体	手話ボランティアいぐさ、はやしま朗読ボランティアグループ福来朗、早島要約筆記サークル‘ぺんしる’、パソボラはやしま、絵手紙ボランティアやまびこ、日曜大工ボランティアとんかち、コミュニケーション麻雀を広める会、運転ボランティアくるりん、給食ボランティアクローバー・コスモス・スプリング・たんぽぽ・マスカット・ひまわり会・スマイル若宮・市場撫子の会、民生児童委員協議会、福祉活動員協議会、特別非営利活動法人ふれあいネットはやしま、早島町婦人会、早島保護司会、早島町更生保護女性会、わが町の暮らしの応援団、ほっとけんネット早島
映 画 名	「あん」(ハンセン病)

7. ボランティア活動の推進

〔1〕ボランティア保険の加入支援

(1) 要 点

- ・ボランティア活動する方が安心して活動できるよう、事故やけが、賠償責任等について補償するボランティア活動保険(実施主体：全国社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協)の加入促進を図る。
- ∴前年度より加入者数は、個人加入(前年度比▲224名)、団体加入(前年度比▲31名)共に減少。夏のボランティア体験事業が中止となったことが要因。

(2) 加入者数計：306名

◇個人加入：4名

◇団体加入：302名(24団体)

〔2〕福祉ボランティアグループ活動の支援

(1) 要 点

- ・福祉ボランティア団体への活動支援と活動費助成を行った。
- ∴助成金申請時のボランティア数は前年度と同数。

(2) 実施結果

◆活動助成額合計：160,000円(5団体)

①パソボラはやしま、②コミュニケーション麻雀を広める会、③はやしま朗読ボランティア福来朗、④日曜大工ボランティアとんかち、⑤運転ボランティアくるりん

〔3〕 ボランティア活動に関する相談・調整

(1) 要 点

- ・町内の在宅生活者やボランティア団体、各種機関や団体から要請を受け、年間を通じて、福祉ボランティア等の活動調整を行う。
- ・個人相談は、生活支援を行う「暮らしの応援団」へ調整。コロナ禍でも活動を行い、依頼世帯数（▲1世帯）及び調整件数（▲7件）ともに前年度より微減も、内新規依頼世帯は14世帯（+2件）と増加した。
- ・団体相談は、様々な特技ボランティア個人や団体を調整。新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてのサロン活動等の自粛で調整件数は減少（前年度比▲67件）。

(2) 調整件数

○個人相談（個人の生活を支援する人材の調整件数）

相談者（世帯数）	依頼事項等	調整内容	調整件数
生活困窮世帯（1世帯）	家屋外清掃	生活支援ボランティアの派遣調整	1件
独居高齢者（13世帯）	ゴミ出し・買い物代行・話し相手・家屋の修繕等	生活支援ボランティアの派遣調整	278件
高齢者世帯（3世帯）	付き添い・家屋内外の修繕	生活支援ボランティアの派遣調整	3件
障がい者世帯（4世帯）	付き添い・家屋内整理・家屋内修繕作業	生活支援ボランティアの派遣調整	11件
複合課題世帯（1世帯） ※複数の課題がある世帯	家屋内修繕作業	生活支援ボランティアの派遣調整	1件
同居世帯（1世帯） ※同居者が作業困難	付き添い・家屋外清掃	生活支援ボランティアの派遣調整	2件
合 計			23世帯/296件

※地区内の助け合い活動（福祉部会や組合、福祉活動員）に調整した世帯が別に6世帯。

※福祉有償運送事業（P.28）及び年末大掃除お助け活動（P.22）の調整数は除く。

○団体相談（団体や組織活動を支援する人材や作業の調整件数）

相談元（団体数）	行事名、依頼事項等	調整内容	調整件数
町内教育機関 （1団体）	授業への協力	車いす体験の指導	1件
町内医療機関 （0団体）	つくし病棟での本の読み聞かせ	朗読ボランティアの派遣調整	0件
町内福祉施設 （0団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	0件
地区老人クラブ （0団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	0件
地区サロン活動グループ （4団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	6件
	送迎調整協力	運転ボランティアの派遣調整	0件
給食ボランティアグループ （8団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	45件
	送迎調整協力	運転ボランティアの派遣調整	156件
福祉当事者グループ （0団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	0件
合 計			13団体/208件

※本会デイサービスセンターが調整をした件数は除く。通所介護事業（P.37）参照。

〔4〕ボランティア活動の人材発掘

(1) 要 点

- ・福祉活動員や地区サロン活動者、給食や福祉ボランティアグループ等、流動的な町内の福祉活動の担い手や後継者の確保に向けた人材発掘を行う。
- ∴7月に「福祉有償運送事業運転者講習会」を特定非営利活動法人移動ネット岡山と共催で開催。県内受講者27名中町内受講者2名が事後に運転ボランティア活動に参画。
- ∴事務局を務める「暮らしの応援団の買い物サロン活動の拠点拡大に伴う協力者等の地区内での生活支援活動者が増加した。

(2) 実施結果

分 野	具体的取組み	新規所属団体	新規人数
福祉活動員	自治会への推薦依頼	福祉活動員協議会	55名
福祉ボランティア	福祉有償運転者講習会開催	運転ボランティアくるりん	2名
生活支援活動者	勉強会・新規地区活動立案	暮らしの応援団	14名
			合計71名

8. 福祉団体活動の支援

〔1〕福祉当事者団体活動の支援

(1) 要 点

- ・当事者団体への活動支援と活動費助成を行った。
- ∴前年度より活動助成額合計は減少（前年度比▲216,400円）。早島町身体障がい者福祉協会（前年度比▲4名）、ブロンズクラブ（前年度比▲2名）の会員登録者数の減少と、新型コロナウイルス感染拡大による親睦旅行の中止が要因。

(2) 実施結果

- ◆活動助成額合計：164,000円（3団体）
 - ①早島町身体障がい者福祉協会、②早島つばさの会（知的障がい児者の親の会）、③ブロンズクラブ（独居高齢者の会）

〔2〕福祉団体活動の支援

(1) 要 点

- ・福祉団体への活動支援と活動費助成を行った。
- ∴前年度と助成団体及び各団体の会員数に変化はなく、活動助成額合計も前年度と同額の助成となった。

(2) 実施結果

- ◆活動助成額合計：172,000円（2団体）
 - ①早島保護司会、②早島町更生保護女性会

9. 在宅福祉サービス事業の実施

〔1〕福祉有償運送事業の実施

(1) 要 点

- ・要介護高齢者や障がいある方のうち、自力で公共交通機関を利用できない方を対象に、有償（タクシー料金の概ね半額）で、ご自宅から目的地までの送迎外出支援を「福祉車両」によりを行う。
- ・運行毎次の使用車両の運行前点検と登録運転手の体調確認及びドライブレコーダーによる実際の運行映像を活用し、月次の安全運転指導や研修を行った。
- ∴利用回数増加に伴い、本事業登録車両を2台追加し、3台での運行体制に拡充した。
- ∴コロナ禍も感染症対策をしながら事業を継続し、実利用者人数及び運行回数ともに前年度より増加した。

(2) 利用状況等実施結果

◆実利用者数 28人（前年度比+10人）

◆延べ運行回数 194回（前年比+64回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	運行回数	利用料収入（円）
4月	5人	12回	16,360円
5月	4人	14回	17,000円
6月	9人	22回	22,300円
7月	7人	28回	26,360円
8月	10人	20回	21,140円
9月	9人	15回	25,690円
10月	6人	13回	9,950円
11月	6人	10回	19,720円
12月	11人	24回	32,190円
1月	7人	14回	12,040円
2月	5人	7回	12,830円
3月	7人	15回	11,670円
合 計	86人	194回	227,250円

〔2〕福祉用具貸出サービスの実施

(1) 要 点

- ・介護が必要な状態にある方へ外出や通院等を目的に原則2週間を限度に介護用具の貸し出しを行う。
- ∴実利用者数が38人（前年度比▲8人）と前年度より減少。合計貸出件数は162件と増加（前年度比+18件）しており、同一利用者への貸出が増加。近年、2週間以上の貸出利用の傾向があり、貸出期間に課題があった。
- ∴本サービスは次年度より「おたすけ福祉用具貸出サービス」に名称変更。ご利用者の利便性をより考慮したスムーズな延長貸出を可能にする等、規定変更を行う。

(2) 利用実績

①実利用者数

38人（前年度比▲8人）

②貸出品目と件数

介護用具名	貸出件数
車いす	116件
スロープ	8件
ポータブルトイレ	14件
歩行器	2件
点滴スタンド	2件
家庭用コードレスチャイム	2件
シャワーチェア	1件
杖（松葉杖含む）	17件
合計	162件（前年度比+18件）

10. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助

〔1〕生活福祉資金貸付の実施

(1) 要点

- ・低所得者世帯の経済的自立や身体障がい者世帯の生活意欲の助長促進及び、在宅福祉、社会参加の促進のために必要な資金を貸付けるために、生活福祉資金貸付事務（実施主体：岡山県社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協）を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で収入が減少した方を対象に、前年度から特例貸付の相談受付業務を継続した。
- ・通常貸付の相談件数2件の内、新規貸付となったケースは0件。
- ・特例貸付の相談件数157件の内、新規貸付となったケースは145件。

(2) 対応実績（令和3年3月31日現在）

貸付資金種類	相談件数	新規貸付	貸付中	償還中
総合支援資金	1件	0件	0件	0件
福祉資金	1件	0件	0件	0件
教育支援資金	0件	0件	0件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件	0件
※旧・離職者支援資金	-	-	-	1件
緊急小口資金（特例貸付）	82件	71件	71件	1件
総合支援資金（特例貸付・初回）	40件	39件	39件	0件
総合支援資金（特例貸付・延長）	27件	27件	27件	0件
総合支援資金（特例貸付・再貸付）	8件	8件	8件	0件
合計	159件	145件	145件	2件

〔2〕日常生活自立支援事業の実施

(1) 要点

- ・在宅で生活しており、自分の判断で福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を適切に行うことが困難な方をサポートする本事業（実施主体：岡山県社会福祉協議会）の相談対応や援助業務を行った。
- ・継続して4名が利用しており、個別に毎月2回から4回の援助訪問や相談対応を実施した。

(2) 対応実績（令和3年3月31日現在）

援助区分	新規相談	新規契約	援助中	契約解除
認知症高齢者	0件	0件	0件	0件
知的障がい者	0件	0件	1件	0件
精神障がい者	0件	0件	2件	0件
その他	0件	0件	1件	0件
合計	0件	0件	4件	0件

1 1. 地域福祉センターの運営管理

〔1〕施設利用の促進

(1) 要点

- ・町内の地域福祉活動拠点として、福祉関係者を中心にセンター内の施設（4部屋、開放フロア）の貸し出しと管理運営を行った。
- ∴前年度より施設全体で利用回数、利用者数は大幅に減少（ボランティア室▲345人、調理実習室▲534人、会議室▲878人、プレイルーム▲809人、開放フロア▲48人）。新型コロナウイルス感染症拡大予防が要因。

(2) 団体利用実績

施設名	利用回数	利用人数	平均利用人数
ボランティア室	35回	146人	4.2人
調理実習室	30回	339人	11.3人
会議室	171回	2,477人	14.5人
プレイルーム	134回	794人	5.9人
開放フロア	8回	60人	7.5人

(3) 個人利用実績（プレイルームのみ）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、貸出を中止した。

〔2〕備品・用具の貸出

(1) 要点

- ・町内の地域福祉活動の活性化のため、福祉活動に役立つ備品・用具の貸出しを行った。
- ∴前年度と比較して貸出件数の総数に大きな変動は見られなかった（前年度比▲4件）。
- ∴利用団体はサロン関係者及び行政関係者が大半であるが、今年度より新たに法人連携による保育園への用具の貸出が増加。

(2) 利用実績

援助区分	合計	福祉関係団体	行政関係団体	その他
レクリエーション用具	19件	7件	9件	3件
機材	9件	5件	0件	4件
その他	2件	1件	0件	1件

〔3〕施設改修の実施

(1) 要 点

- ・老朽化する施設内の空調設備の予防修繕、デイサービス浴室屋根換気設備の修繕、警備システムの機種変更工事等を行った。
- ∴警備システムの機種変更により、入退館時の作業を効率化することができた。また、経年劣化による設備の予防修繕は継続的に行っていく必要がある。

(2) 改修実績

- ・空調設備の修繕（2機）
- ・デイサービス浴室屋根換気設備の修繕
- ・複合火災受信盤内バッテリー取替
- ・デイルーム排煙窓修繕（1機）
- ・自動火災報知機取替工事（1カ所）
- ・早島町地域福祉センタートイレ改修工事（2カ所）
- ・警備システムの機種変更工事

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業

〔1〕介護保険-居宅介護支援事業の実施

(1) 要 点

- ・利用契約を結んだ要介護状態の方に対し、ご本人やご家族の意思を尊重しながら、介護・保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるよう、個別の居宅サービス計画の作成や事業者等との調整を行った。
- ・サービス利用以外の時間帯にも安心した在宅生活が過ごせるよう、介護保険制度以外にも民生委員・福祉活動員と個別に情報共有を行うとともに、住民による生活支援活動試行への積極的な誘導を図った。
- ∴コロナ禍で外部研修が中止やオンラインに切り替わる中、内部での事例検討会を定期的に行い、研修機会を充実させた。個別事例を深めることで、事業所内でのリスク共有や援助の質の向上を図った。
- ∴年間通しての件数低迷は、前々年度下半期の新規受け入れ中断期間があったことと、上半期コロナ禍で不透明な状況が続いたことで新規相談件数が伸び悩んだ。そのため、積極的に地域や医療機関へ広報活動を行った。しかし、前年度より月間平均請求件数は減少（前年度比▲17件）し、一人当たりの月間平均担当件数も31件（前年度比▲3件）と減少。黒字確保のため、引き続き広報活動、体制の強化が急務となっている。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規契約利用者：45件（前年度比▲9件）
- ◆年間契約解除利用者：56件（前年度比▲11件）
- ◆月間平均請求件数：170件（前年度比▲17件）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	件数	収入(円)
4月	172件	2,678,560円
5月	176件	2,736,180円
6月	177件	2,752,570円
7月	176件	2,745,180円
8月	172件	2,669,580円
9月	164件	2,562,200円
10月	166件	2,598,680円
11月	164件	2,544,060円
12月	166件	2,592,540円
1月	169件	2,626,070円
2月	168件	2,614,180円
3月	167件	2,578,290円
合計	2,037件	31,698,090円

〔2〕介護保険-介護予防居宅介護支援事業の実施【早島町受託事業】

(1) 要点

- ・利用契約を結んだ要支援状態の方に対し、ご本人やご家族の意思を尊重しながら、介護予防・保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるよう、個別の介護予防支援サービス計画の作成や事業者等との調整を行った。
- ∴昨年度に続き、介護支援専門員1名が計画作成を担当。介護予防支援業務マニュアル作成を行い、業務の標準化や共有化を図った。
- ∴契約解除利用者10件のうち、1件は状況改善。介護予防給付を終了した後、地域の健康体操教室に移行。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規契約利用者：8件（前年度比▲3件）
- ◆年間契約解除利用者：10件（前年度比▲1件）
- ◆月間平均請求件数：45.2件（前年度比+2.4件）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	件数	収入(円)
4月	45件	196,940円
5月	46件	201,250円
6月	47件	205,560円
7月	46件	201,250円
8月	45件	193,950円
9月	47件	205,570円
10月	47件	202,570円
11月	45件	196,950円
12月	45件	196,950円
1月	44件	189,640円
2月	43件	185,330円

3月	42件	184,020円
合計	542件	2,359,980円

※本事業担当介護支援専門員の人件費を町受託金で受けており、本事業収入は、国民健康保険団体連合会から早島町へ給付される。

2. 通所介護事業

〔1〕介護保険-通所介護事業の実施

(1) 要点

- ・通所介護サービスの利用により、介護が必要な高齢者の心身の機能の悪化を防止するとともに、利用者が以前と変わらず自宅で生活でき、趣味活動や人との交流のある生活を維持できるよう支援する。
- ・介護をしている家族の心身の負担を軽減する。
- ∴下半期に入院や入所が相次いだことと、新型コロナウイルス感染症による利用控えがあり、利用者数の減少があった。
- ∴新型コロナウイルス感染症対策として、にぎやかなイベントやカラオケ、外部ボランティアの慰問は中止した。
- ∴アンケートによる項目別満足度調査は、送迎98%、食事76%、運動66%、創作活動62%が満足との回答であった。またデイサービスを利用したことによる変化としては元気になった、楽しそうにしているという意見が最も多かった。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 15人（前年度比+2人）
- ◆年間延べ利用者数：7,727人（前年度比+169人）

(3) 利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入(円)
4月	26日	54名	654名	25.1	5,724,630円
5月	26日	56名	676名	26.0	5,583,010円
6月	26日	56名	714名	27.4	6,177,820円
7月	27日	56名	725名	26.8	6,165,020円
8月	26日	54名	662名	25.4	5,605,440円
9月	26日	56名	636名	24.4	5,366,680円
10月	27日	54名	689名	25.5	5,725,370円
11月	25日	53名	627名	25.0	5,148,860円
12月	27日	52名	589名	21.8	4,838,710円
1月	26日	56名	589名	22.6	4,658,100円
2月	24日	52名	533名	22.2	4,413,360円
3月	27日	54名	633名	23.4	5,163,120円
合計	313日	—	7,727名	24.6名	64,570,120円

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

※1日平均人数の合計は、年間延べ人数を開所日数で除した数値を記載。

※収入には、食費や創作材料代等実費は含まず。

〔2〕介護予防・日常生活支援総合事業の実施

(1) 要 点

- ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者に対して、利用者が要介護状態になることを予防し、心身ともに自立した生活を維持できるよう支援する。
- ・高齢者を支える家族の生活を支援する。
- ∴年間の利用者15人中10人（6割）が要介護状態になることを予防できた（要支援の介護度状態が維持できた）。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 7人（前年度比 同じ）
- ◆年間延べ利用者数：568人（前年度比+102人）

(3) 利用状況及び収入の推移（要支援1～2の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収 入（円）
4月	26日	8名	44名	1.6	247,900円
5月	26日	7名	43名	1.6	236,920円
6月	26日	7名	46名	1.7	236,920円
7月	27日	7名	46名	1.7	218,040円
8月	26日	7名	40名	1.5	218,040円
9月	26日	7名	43名	1.6	218,040円
10月	27日	8名	53名	1.9	257,280円
11月	25日	8名	40名	1.6	236,050円
12月	27日	9名	41名	1.5	256,410円
1月	26日	10名	48名	1.8	260,070円
2月	24日	11名	57名	2.3	316,010円
3月	27日	11名	67名	2.4	316,010円
合 計	313日	—	568名	1.8名	3,017,690円

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

※1日平均人数の合計は、年間延べ人数を開所日数で除した数値を記載。

※収入には、食費や創作材料代等実費は含まず。

〔3〕介護保険外サービス事業の実施

(1) 要 点

- ・利用登録者を対象に、社会参加の促進と生き甲斐づくりを目的に、介護保険外の事業として、長期入院者等が一時帰宅した際の介護保険外デイサービスの提供と、要支援に該当する者の入浴サービスの提供と、年に1回、日帰り旅行を実施する。
- ∴介護保険外のデイサービス及び入浴サービスの利用はなかった。
- ∴日帰り旅行は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から実施せず。

(2) 活動実績

○実績なし

〔4〕ボランティア協力（受入）の実施

（1）要 点

- ・ 演芸ボランティアを始め、季節行事や日常的プログラム支援としてボランティアの受け入れをし、利用者がデイサービスで過ごす時間の充実を図る。
- ・ ボランティアの受け入れにより、住民と利用者との交流の場としての役割を担う。
- ・ ボランティア活動を希望する住民や学生を受け入れ活動の場を提供する。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策のため、外部からの立ち入りを制限し、予定していた慰問やイベントを中止した。県内での感染症流行状況を見ながら再開も検討したが結果年間通じてテイルーム内で活動するボランティアの受け入れはしなかった。

（2）実施結果

新規協力はなし。個人2名。

◇ボランティア来館数

月	プログラム提供		行事補助 (延べ人数)	ボランティア体験 (延べ人数)
	個人活動	団体数		
4月	0名	なし	0名	0名
5月	0名	なし	0名	0名
6月	0名	なし	0名	0名
7月	0名	なし	0名	0名
8月	0名	なし	0名	0名
9月	0名	なし	0名	0名
10月	0名	なし	0名	0名
11月	0名	なし	0名	0名
12月	0名	なし	0名	0名
1月	0名	なし	0名	0名
2月	0名	なし	0名	0名
3月	0名	なし	0名	0名
合計	0名	なし	0名	0名

◇個人ボランティアの活動内容（有償の活動は除く）

活動内容	活動人数
畑や花の手入れ	2名
創作活動の見本提供	1名

3. 訪問介護事業

〔1〕介護保険-訪問介護事業の実施

（1）要 点

- ・ 要介護状態になっても、利用者の望む暮らしができるよう、訪問により心身の状況に応じた身体介護（入浴、排泄、食事の援助等）や生活援助（調理、掃除、買い物等）、日常生活全般の援助を行った。

：積極的に新規利用者の獲得を行ったが、中止・死亡・入所による終了者が急増したこと、新型コロナウイルスの影響で長期に休止となった利用者が2名あり、収入が前年度比で1,780千円減収となった。

：引き続き新規利用者を獲得する工夫とサービス見直しの提案を行う等の具体的対策が必要。

(2) 利用状況等実施結果

◆年間新規利用者： 16件（昨年度比 +8件）

◆年間延べ利用者数： 412人（昨年度比 ▲24名）

◆年間延べ訪問回数： 4,635回（昨年度比▲543回）

(3) 利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	38名	465回	406.00時間	1,472,420円
5月	35名	444回	382.83時間	1,405,210円
6月	40名	497回	435.83時間	1,604,750円
7月	36名	467回	405.00時間	1,476,670円
8月	36名	440回	393.25時間	1,435,960円
9月	35名	369回	317.75時間	1,220,270円
10月	34名	348回	303.52時間	1,191,840円
11月	34名	291回	255.00時間	1,020,870円
12月	32名	345回	287.83時間	1,136,000円
1月	32名	323回	281.25時間	1,053,280円
2月	31名	302回	247.50時間	946,180円
3月	29名	344回	283.00時間	1,076,420円
合計	412名	4,635回	3,988.76時間	15,039,870円

〔2〕介護予防・日常生活支援総合事業の実施

(1) 要点

・介護予防・日常生活支援総合事業対象者を対象に、自立に向けた生活機能の向上を目的とした支援を行った。

：週3回利用の利用者の終了により訪問回数、訪問時間が減少したが、利用者数は若干増えたため収入が前年度比55千円増加となった。

：引き続き早島町地域包括支援センターに確認しながら新規利用者を受けていきたい。

(2) 利用者状況等実施結果

◆年間新規利用者： 8件（昨年度比+4件）

◆年間延べ利用者数： 222名（昨年度比+22名）

◆年間延べ訪問回数： 1,552回（昨年度比+23回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	15名	117回	106.00時間	356,750円
5月	17名	118回	108.25時間	364,271円
6月	18名	127回	113.75時間	425,560円
7月	18名	136回	122.25時間	421,160円

8月	16名	117回	104.00時間	356,730円
9月	17名	121回	105.75時間	382,490円
10月	19名	148回	132.75時間	449,120円
11月	20名	132回	117.25時間	462,010円
12月	21名	128回	114.91時間	477,100円
1月	20名	132回	118.25時間	462,010円
2月	20名	126回	113.25時間	446,940円
3月	21名	150回	132.68時間	454,360円
合計	222名	1,552回	1,389.09時間	5,058,501円

〔3〕 介護予防・日常生活支援総合事業-生活支援事業の実施

(1) 要 点

- ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス)の対象者に、自立に向けた生活機能の向上を目的とした支援を行った。
 ∴困難事例のみ対応する形で今年初めて利用があった
 ∴報酬単価上、利益が全くない事業であるが、必要があれば対応する。

(2) 利用者状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 1件(昨年度比 +1件)
- ◆年間延べ利用者数： 5名(昨年度比 +5名)
- ◆年間延べ訪問回数： 34回(昨年度比 +34回)

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	0名	0回	0時間	0円
5月	0名	0回	0時間	0円
6月	0名	0回	0時間	0円
7月	0名	0回	0時間	0円
8月	0名	0回	0時間	0円
9月	0名	0回	0時間	0円
10月	0名	0回	0時間	0円
11月	1名	9回	9時間	11,700円
12月	1名	8回	8時間	10,400円
1月	1名	8回	8時間	10,400円
2月	1名	4回	4時間	5,200円
3月	1名	5回	5時間	6,500円
合計	5名	34回	34時間	44,200円

〔4〕 介護保険外サービス事業の実施

(1) 要 点

- ・介護保険制度適用外で、日常生活に援助が必要とする方に、介護保険制度を同様のサービス(家事援助、身体介護)に加え、制度では行えないサービス(見守りを兼ねた話し相手等)を行い、安心して日常生活を営む事が出来るよう援助を行った。

∴定期利用者数は変化ないが、随時利用の新規利用者が6名あった。今後も介護支援専門員等と連携し必要に応じ対応していきたい。

∴住民主体の見守り活動（民生委員や福祉活動員等）や生活支援活動（暮らしの応援団）と連携し、役割分担をし、専門性の必要な利用者の方を重点的に支援していきたい。

(2) 利用状況等実施結果

◆年間新規利用者： 6件（昨年度比±0件）

◆年間延べ利用者数： 70名（昨年度比+9名）

◆年間延べ訪問回数： 188回（昨年度比+29回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	6名	15回	13.5時間	33,396円
5月	6名	14回	12.0時間	29,810円
6月	7名	16回	15.0時間	38,082円
7月	7名	17回	16.5時間	42,603円
8月	7名	17回	14.5時間	37,818円
9月	5名	18回	17.0時間	41,635円
10月	6名	16回	16.5時間	39,468円
11月	4名	13回	11.0時間	27,357円
12月	5名	15回	12.5時間	31,130円
1月	4名	12回	10.5時間	26,037円
2月	7名	18回	15.0時間	38,951円
3月	6名	17回	14.0時間	34,903円
合計	70名	188回	168.5時間	421,190円

〔5〕障がい者総合支援-居宅介護事業の実施

(1) 要 点

・総合支援法の趣旨に沿って、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活ができるよう、障がいの特性・心身の状態に配慮しながら身体介護・家事援助・通院介助等の日常生活全般の援助を行った。

∴介護保険へ移行した利用者が1名あったが、新規利用1名とサービスの追加により収入が前年比で31千円増加となった。

∴近年の傾向として特に精神障害の利用者の需要が増えている。引き続き内部研修を行い障害特性の習得をしていく必要がある。

(2) 利用状況等実施結果

◆年間新規利用者： 1件（昨年度比±0件）

◆年間延べ利用者数： 100名（昨年度比+16名）

◆年間延べ訪問回数： 1,030回（昨年度比+89回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				収入
			身体	知的	精神	合計	
4月	9名	85回	16.25	36.75	37.00	90.00	247,390円
5月	9名	90回	16.75	39.50	32.75	89.00	256,340円

6月	9名	89回	13.25	42.75	32.75	88.75	269,280円
7月	8名	90回	13.00	46.00	43.75	104.00	288,130円
8月	8名	77回	7.00	43.50	29.75	80.25	250,230円
9月	8名	84回	21.00	33.00	34.75	88.75	270,830円
10月	8名	79回	7.00	45.50	28.75	81.25	245,460円
11月	8名	92回	7.00	44.50	29.50	81.00	239,950円
12月	8名	80回	11.00	41.75	29.50	82.25	253,560円
1月	7名	77回	12.00	31.00	30.25	73.25	248,460円
2月	9名	96回	8.00	43.00	36.25	87.25	268,230円
3月	9名	91回	7.00	45.75	39.50	92.25	282,500円
合計	100名	1030回	140.50	493.00	404.50	1038.00	3,120,360円

〔6〕障がい者総合支援-重度訪問介護事業の実施

(1) 要 点

- ・総合支援法の趣旨に沿って、重度の障がいにより行動上著しい困難がある方に対し、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活ができるよう、障がいの特性・心身の状態に配慮しながら身体介護・家事援助等の日常生活全般の援助を行った。
- ・：現行の利用者の病状の進行が落ち着いて継続して支援した。
- ・：痰吸引の有資格者がいないことと、長時間の利用者に対する対応が現状の人員では困難である。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 0件（昨年度比±0件）
- ◆年間延べ利用者数： 12名（昨年度比+10名）
- ◆年間延べ訪問回数： 50回（昨年度比+42回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				収入
			身体	知的	精神	合計	
4月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
5月	1名	5回	10.00	0.00	0.00	10.00	22,670円
6月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
7月	1名	5回	10.00	0.00	0.00	10.00	22,670円
8月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
9月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
10月	1名	4回	9.00	0.00	0.00	9.00	20,410円
11月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
12月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
1月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
2月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
3月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,130円
合計	12名	50回	101.00	0.00	0.00	101.00	228,920円

〔7〕 障がい者総合支援-移動支援事業（外出支援）の実施

（1）要 点

- ・総合支援法の趣旨に沿って、住み慣れた地域で自分らしく生活するために、安全に外出できるよう障がいの特性・心身の状態に配慮しながら移動（外出）支援を行った。
- ∴長期入院の利用者があったことと、新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者数、回数が減少したことにより収入が前年度比▲62千円となった。
- ∴報酬単価が低い為、収益につなげにくいことが課題である。

（2）利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 0名（昨年度比 ▲2名）
- ◆年間延べ利用者数： 25名（昨年度比 ▲5名）
- ◆年間延べ訪問回数： 186回（昨年度比▲14回）

（3）利用状況及び収入の推移

サ-ビ入月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				収 入
			身体	知的	精神	合計	
4月	2名	17回	25.5	0.0	0.0	25.5	44,250円
5月	2名	16回	22.5	0.0	0.0	22.5	48,750円
6月	3名	14回	21.0	0.0	1.0	22.0	33,750円
7月	2名	16回	24.5	0.0	0.0	24.5	42,750円
8月	2名	11回	19.0	0.0	0.0	19.0	35,250円
9月	2名	17回	24.5	0.0	0.0	24.5	40,500円
10月	2名	17回	26.5	0.0	0.0	26.5	44,000円
11月	2名	17回	25.5	0.0	0.0	25.5	40,250円
12月	2名	16回	25.5	0.0	0.0	25.5	37,500円
1月	2名	13回	22.5	0.0	0.0	22.5	38,000円
2月	2名	16回	25.0	0.0	0.0	25.0	43,750円
3月	2名	16回	27.0	0.0	0.0	27.0	50,000円
合 計	25名	186回	289.0	0.0	1.0	290.0	498,750円